

令和5年8月25日



相談室からのお手紙（8月号）

愛媛県立松山中央高等学校

6月の全校集会で紹介した絵本のお話をします。肥塚彰原作・黒崎義介文/絵『こびとといもむし』（フレーベル館）は、童画家である黒崎さんの手によって世に出されました。お話の原作者である肥塚彰さんは立教大学の学生さんで、21歳の頃に学徒出陣。そのまま戻られませんでした。彼のお兄さんが弟の残していた300枚ほどの原稿を持って、黒崎さんを訪ねたのだそうです。

みなさんにお話したこびとさんのお話。彰さんがその繊細で清らかな物語を紡いだのは何歳のときだったのでしょうか。アンデルセンの童話などを読んでいたであろう子ども時代。戦争が身近になった中、高校時代。そして大学時代。学徒出陣で入った軍での生活、人間関係。その中で彼は何を感じ、何を考えながら成長していたでしょう。私に彼の日々や心情を正確に想像できるとは思えませんが、戦いに向かったこの時代は、彼にとってすごく生きづらかったと思います。もしかしたら現実の厳しさゆえに、彼の作り出した物語の世界が彼の心を支えていたかもしれません。清純な世界を心の中に持つ彼には、時代と世間の在りようはとてつらくて苦しいものだったかもと考えます。

けれど彼の残したこの美しいお話は、絵本となって「心あたたかな交流」や「幸せ」を指し示してくれました。物語に出会ったたくさん子どもたち、大人になった人たちが、彰さんの望んだ優しい世界と願いを次の子どもたちへとつなぎ続けてくれたら、それはとても素晴らしいことなのだと思います。

スクールライフアドバイザー 岡本 綾

- ★スクールライフアドバイザー来校予定日（12：00～18：00）
8月29日（火）・31日（木）・9月 7日（木）・12日（火）・
9月14日（木）・19日（火）・21日（木）・26日（火）

- ★メールアドレス

kawamin_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp

- ★生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、気軽に利用してください。なお、メールの返信は遅れるかもしれませんが、スクールライフアドバイザーが必ず返信します。

